

事業所における自己評価結果（公表）

別紙3

公表：令和 2年 3月 日

事業所名 すたあと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	・基準を遵守している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	2	3	・個別の対応をしていくため、基準より多く職員を配置している。	・親子療育で個別の対応をしながら保護者の方一人一人としっかりと時間を取って話をすることが難しいこともある。座談会など保護者の方と話をする時間を
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	・その日の利用児に合わせて、パーテーションを使って空間を仕切ったり、布で覆って刺激を減らすなどしている。 ・角へのクッションテープやコーナーガードの使用により、怪我の予防に努めている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	・毎日療育後に清掃、消毒を行っている。また、季節によって庭木の剪定や草むしり、害虫の駆除を行っている。	・自然の多い環境のため、害虫の駆除が追い付かない面がある。次年度は害虫の駆除を委託する予定になっている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	・日々の振り返りの中で、課題の評価を行い、次の課題を設定している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	・ペアレントトレーニングについてのアンケートを実施している。今後はいただいたご意見をもとに、保護者の方のニーズを把握して業務改善につなげていく。 ・ガイドラインの評価については、前年度の評価をもとに改善にあたっている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	・昨年度、第一回目の評価のアンケートを取らせていただき、職員間で共有して改善策を話し合っている。 ・評価の公開を行い、ホームページ上に公開しており、通信で保護者へ案内している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4		・実地指導の場面で、第三者による評価を受けており、評価結果をもとに業務の改善に取り組んでいる。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	・法人内部、外部の研修への参加と、外部の研修で得た知識について職員内で振り返る時間を作っている。 ・コンサルテーションを受け、資質向上のために指導を仰いでいる。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	・保護者の方と一緒に要望書を確認してニーズの把握に努めている。 ・日々の活動を通して、利用児の課題をアセスメントしながら児童発達支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	・年中、年長児では遠城寺式乳幼児分析的発達検査法と太田ステージによる評価、年少児未満の利用児については、必要に応じて太田ステージとNCプログラムによる評価を行い、プランに反映している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	・相談支援事業所で作成されているプランをより深めるように、日々のアセスメントや保護者の皆様の要望から支援計画を立てている。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	・個別支援計画に基づいて活動を設定しており、日々の振り返りの中で職員間でも共有を図っている。	・振り返りやカンファレンスを実施しながら、常に行っている支援が計画に沿っているかを考えていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	・その日に主となる職員が中心になって個別支援計画に基づき、活動を立案している。 ・行事などのプログラムにおいては、職員会議の時間を設定して話し合いをしている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	・活動の中で、必要に応じて利用児に合わせた支援や設定を考えるようにしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	5	0	・活動を通してアセスメントをしながら、それぞれの利用児の状況に合わせて小集団や個別での活動を設定するように支援計画を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	・朝礼の時間を設けており、その中で支援の内容の確認を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	・日々の行動観察記録や、療育終了後の振り返りの時間を通して、その日の気づきや次回の課題などを職員間で共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	・行動観察記録にその日の活動の記録を残し、支援の改善や継続などを職員全体で共有できるようにしている。 ・記入しやすく、情報共有のしやすい用紙になるよう職員で工夫している。	
関係機関や保護者との連携関係	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	・相談支援事業所のモニタリングのタイミングで変更があった支援計画について、全職員で共有するようにしている。 ・必要に応じてプランを追加、変更している。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	・にじいろ教室（要観察児教室）では保健師と連携を取ること多い。 ・所属の園へ訪問し、利用児の園での様子を見させていただいている。 ・保健師より利用につながったご家庭では、療育時に保健師が利用児の様子を見に来ることもあり、必要に応じて連携を取らせていただいている。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	5	・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもがいない。	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	5	・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもがいない。	
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	・こちらから伺い、情報共有を行うが、園側からの情報は少ないところが多いと感じる。	・全利用児の様子を、園へ見に行かせていただき、必要に応じて連携を取っている。今後も継続して相互理解を図ってきたい。	

機関 や 保 護 者 と の 連 携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	4		・必要に応じて引継ぎをさせていただくが、数としては多くない。就学先との連携は今後の課題として考えていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3		・他機関からの助言や研修を受ける機会というのは少ないが、今年度よりコンサルテーションを受ける機会があり、助言・研修を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4		・保育園や幼稚園、認定こども園に在籍されているご家庭が多いため、交流の機会は在籍の園で持っていたい。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	4		・法人内の職員が参加しており、必要に応じて情報共有をしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0		・直接活動の様子を説明させていただいたり、動画を撮ってお迎えの際に説明させていただいたりすることで、活動時の様子をお伝えしている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5	0		・にじいろ教室（要観察児教室）、親子療育の際に実施しているが、回数としてはまだ少ない。また、内容についても保護者のニーズを把握しながら検討していきたいと考えている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0		・管理者が契約の際に利用契約書、重要事項説明書の内容について説明をしている。また、変更があった際にはその都度説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0		・懇談の機会を持つことで個別支援計画について、説明と同意をいただき、支援を実施している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0		・連絡帳を通してのご相談や、直接のご相談にできる限り対応させていただいている。ご相談の内容によりその場でお答えできないことについては、一度持ち帰り職員間で話し合いをするなどして再度お伝えさせていただいている。 ・職員のスキルアップについては、職員間の勉強会の場を設けるなどして取り組んでおり、今後も継続していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4		・地域の園を利用されている利用児が多いため、そちらで参加されている保護者が多い。そのため保護者会等の設定はしていない。 ・保護者の勉強会や座談会などを企画し、保護者同士のつながりが持てる場を作っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0		・掲示物で苦情解決の窓口の案内をしている。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0		・通信や行事についての予定を配布している。利用がなく配布が難しい家庭については行事について電話連絡をすることで対応している。	

非常時等の対応	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵のかかるロッカーで書類やケースファイルを保管するなど、取り扱いへの配慮をしている。</li> <li>・写真掲載等については事前に同意書により保護者の意向を確認した上でやっている。</li> </ul>	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を載せることなど事前に同意をいただいたり、療育上必要な写真の利用について説明をさせていただくことで配慮している。</li> <li>・保護者からの相談について、個別な相談が必要な場合は別室で対応させていただく等配慮している。</li> </ul>	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報、守秘義務の観点から地域の方を招待することは難しい。お買い物活動やお散歩の時間などを通して、地域の方とあいさつを交わす機会は設けることができる。</li> </ul>
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で年度初めに確認をしており、周知するようにしている。</li> <li>・保護者の皆様へは契約時に説明をさせていただいているが、掲示などはしていないため、確認できる場所へ掲示していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、土砂災害についての避難のマニュアルを作成しており、避難の経路について年度初めに全職員が確認できるようにする。</li> </ul>
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1度のペースで実施しており、職員の動きも併せて確認している。</li> </ul>	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者カルテに記入をお願いしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度での情報の更新など、懇談の機会に確認することを徹底していくようにする。また、変更があった時にはお知らせいただくように保護者の方へも案内していく。</li> <li>・記入のお願いはしているが、予防接種の項目等漏れがある場合もあるため、書類を受け取った際にしっかり確認していくようにする。</li> </ul>
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーのある利用児について、おやつを分けて、食器を分けることで対応している。また、どの職員でもすぐに確認ができるように、おやつを収納場所に、アレルギー対応児の名簿と、どの食物に対して対応が必要なのかを記入したものを置いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーのある利用児がいる際には、個別に皿や保存容器を分けることで対応していく。</li> </ul>
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットや事故報告書を記入して職員間で共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例集という形では作成していないが、報告書を閲覧できるようファイリングしている。確認して共有していくことで再発防止に努めるようにする。</li> </ul>	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に一度虐待防止研修を実施している。</li> </ul>		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約の際に、やむを得ない場合の身体拘束についての説明および同意書をもとに、保護者の方に説明し、了承を得るようにしている。</li> </ul>		